



地域再生 協議会だより

百合が丘 2 - 29 - 6 (老人憩いの家) 59 - 9356 (火・金午前) isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp

新年度に向け議論

――事業・資金、組織をどうするか

現在の部会体制



村田町長が再生協議会活動の財政支援の継続方針を示したことで、31年度に向けた議論が本格化している。協議会では、8月9日(木)の拡大部会長会議で町の方針を説明して部会ごとの検討を呼びかけており、9月初めには再度部会長会議を開いて意見を集約したい考えだ。

部会長会議には新旧部会長、域内の自治会長、地区長ら20数人が出席した。その中では、町の財政支援を前提にしたうえで事業部会のスクラップ&ビルドを推進する方向を確認。町からは、事業再編と並行して少子高齢化が進む中での地域組織の在り方について検討して欲しいとの要請があった。いずれも簡単ではないが、来年度予算が固まる10月末までに詰める必要がある。

再生協議会では、来年度以降の当該事業部会の姿、現6部会体制の改革案、一色小学区における望ましい地域組織の在り方――の3点について協議するよう求めている。このため各部会ともそれぞれ段取りを進めているが、一色小地区に限定した事業にするかどうか、引き続き国の支援を得た態勢が組めるかどうかなど、詰めるべき多くの課題が残されている。

「もっと一色・二宮」始まる!!

学校連携部会(山本正博部会長)が準備してきた生涯学習連続講座「もっと知ろう一色・二宮」が9月から始まる。再生協議会の活動が3年目を迎え、地域の文化、歴史について広く深く吸収する機会を設けた。町内の識者10数人を講師に招き、来年3月まで続ける。

初回の9月15日(土)は、町内の文化財に精通した中山史奈子さん(町生涯学習課)の「やさしく解説 二宮の全13重要文化財」。茶屋の薬師如来、川勾神社の田舟など、町指定の全重要文化財について映像などを使って解説する。

同29日(土)には、考古学が専門で発掘の経験豊富な鈴木一男氏(町文化財保護委員)が、県内有力古墳群の一角を占める「大磯・二宮の横穴墓群」

の講演。「まだ知られていないことを大いに語りたい」という。会場は一色小地域こうりゅうルームに固定し、原則月2回(第1、第3土曜)、10—12時に開く。(裏面に日程)



中山史奈子さん



鈴木一男氏

「もっと知ろう一色・二宮」の日程・講師・テーマ（12月まで）

- ・10/14(日) 露木泰彦氏（町文化財保護委員） 「二宮・一色の古道」
- ・10/20(土) 相沢るつ子さん（絵本作家、画家） 「戦時下の二宮の子供たち」
- ・11/10(土) 中山史奈子さん（町生涯学習課・文化財担当）
「東海道線と軽便鉄道—湘南を走った小さな電車の始末記」
- ・11/17(土) 森丹山・浄源寺住職 浄源寺集合（13時半—15時）
「浄土宗浄源寺の歴史遺産」
- ・12/1(土) 島崎直人氏（郷土史家、町文化財保護委員）
「一色の歴史と文化遺産」
- ・12/22(土) 齋木邦弘氏（二宮野鳥の会顧問） 「渡りの越冬地二宮」

いずれも一色小地域こうりゅうルーム、10時～12時

やまゆい合唱団懇親会 8/12

やまゆい合唱団は8月12日（日）、練習拠点の百合が丘児童館で懇親会を開いた。この日は今年度9回目の練習日。いつもより早めの練習を終え、44人が和やかに歓談した。

やまゆいは最初の登壇日（県公社主催・国際こども音楽祭・ラディアン）まで2カ月を切った。そろそろ緊張感が高まってくるころ

だが、この日は桑田葉子、一石洋子両先生がデュエットで「浜辺の歌」を披露。今年の入団者の紹介や練習には欠かさず出席している男女の最高齢者・須山覚一郎さん（97）、佐藤孝子さんの独唱、合田直美さんの即興バレエの披露などがあり、すっかり和やか、打ち解けた場になった。



散策路紹介

富士見コース(約3キロ)

みかん山の天辺のポイントから臨む富士山の眺望が超一級。吾妻山からの眺望に決して引けを取らない。

㊟一色防災コミュニティセンター（標高49m）⇒ 神明神社 ⇒ 庚申塔（同88m）
⇒ みかん畑 ⇒ 富士山ビュー（同158m）
⇒ 浄源寺 ⇒ ㊟一色防災コミュニティセンター

